

## 1 学校教育目標

考えの深い 心の豊かな 実行力のある子

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○学び合う学校 ○安全・安心な学校 ○連携する学校 ・学力をつける学校…分かる授業・感動の息づく体験・人との関わりの喜びのある学校 ・開かれた学校…保護者・地域から信頼され、誇りと思われる学校
○児童・生徒像	○最後まで挑戦する児童 ○健康で自他を大切に行動できる児童 ○学びを生活に活かす児童 ・自ら考え、行動して、自己をよりよく高めていく子 ・相手を思いやり、互いに磨き合って、豊かに関わり合える子
○教師像	○強みを活かし、協働できる教師 ○凡事徹底・信頼できる教師 ○協働し、相互に高め合える教師 ・どの子も分かる喜びをもてる授業をつくり、自らも学び続ける教師 ・組織人としての自覚をもち、主体的に学校運営に参画する教師

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

《現状》

- ・学校…学力定着・学力向上を最重点にキャリア教育の視点も教育活動全体の基本に置きながら、地域の特色を生かす教育を進めている。
- ・児童…明るく素直な児童が多く、地域・PTAの行事にも積極的に参加している。
- ・教師…教育活動に熱心に取り組む。校内OJTの充実・研究研修により指導力の向上を図っている。
- ・地域・保護者…遺跡や寺町など、地域の文化的環境に恵まれている。強い協力関係である。

《前年度の成果と課題》

- 6年間保存用「家庭学習の手引き」を作成し、全学年が自主学習ノートで主体的な学習習慣作りをスタートした。今後も自主学習の定着を目指す。
- 新しい生活様式を守り、思いやりと協力的な行動ができた。今後も「めあて」と「まとめ」「振り返り」の結果から授業改善や生活の工夫を目指す。
- 外部講師による講話や体験から、学びと社会のつながりを知る開かれた教育の推進を図った。今後も全校的に計画的・系統的な取組を目指す。

## 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） H:平成 R:令和				
		R1	R2	R3	R4	R5
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	◎	◎
2	豊かな心の育成及び体力の向上	○	○	○	○	○
3	地域社会に開かれた教育	○	○	○	○	○

行事を展開シアイク

## 5 令和3年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
自主・連携 最後まで挑戦し続ける児童の育成		令和3年度目標通過率	85%	◇86%達成(4月通過率) (国語84% 算数88%)	◇到達度確認1月 85.9%	◇区学力調査は区平均を上回った。引き続き、学力の向上・定着を図る。 ◇学習の定着状況と具体的な取組は6(1)参照。		○	
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	学力の定着 「自主学習ノート」 「ICT活用による補習・補充学習」	全学年 全教科	通年 (4月～)	【指導者体制】全教員 【取り組みのねらい・目的】主体的な学習習慣の形成。 【方法】◇「家庭学習の手引き」(6年間保存版)、自主学習ノート(学年共通)の活用。 ◇eライブラリーの活用	◇学習時間状況調査 ◇自主学習ノートの点検(毎週) ◇区学力調査の通過率	◇6・1月の学習週間で各学年の学習目標時間達成率85%以上 ◇自主学習ノートの提出率80% ◇4月通過率85%	◇学習週間中、全学年で目標時間を達成。 ◇3・5・6年生達成。(1・2年生の提出50%、4年生◇70%) ◇70% ◇86%達成。	◇自主学習の取組みが増加。調査期間以外も継続し習慣化を図る。 ◇タブレットを使用した自主学習(CBT等の活用)も進めていく。	◎
2 継続	課題解決学習「言語活動の充実」 「ICTによる情報活用」	全学年 全教科	通年 研究授業(7月～4回以上) OJT研修 随時	【指導者体制】全教員 【取り組みのねらい・目的】読解力・思考力・判断力・表現力の育成。 【方法】◇聞く・話す・読む・書く・伝え合う活動の実施 ◇検索やプレゼン機能の活用	◇校長、教科指導専門員等による授業観察と指導・助言 ◇児童の学校評価(ICT)	◇12月に実施する到達度確認テストで、目標値を通過する児童90%以上 ◇ICT活用評価50%以上	◇国語・算数の到達度は、86%達成。 3・5年生は93%達成している。 ◇ICT活用は4年生以上で達成。	◇学力定着の取組の継続と授業の充実を図る ◇発達段階に応じたタブレットの活用を図っていく。	○
3 新規	学校図書館の活用 「読書の充実」 「図書資料による情報の選択・活用」	全学年 全教科	通年 (4月～) 学校図書館基本計画に基づき実施	【指導者体制】教員＋図書支援員 【取り組みのねらい・目的】読書習慣と調べ学習の推進 【方法】◇本の紹介◇図書資料を用いた情報の収集・選択・整理・活用の仕方を学ぶ。	◇各学年の目標冊数調査 ◇調べる学習コンクール等への参加状況	◇6月・10月の読書旬間の読書記録(通帳、カード)による各学年の目標冊数達成率80% ◇参加率90%	◇読書旬間の目標冊数は達成。 ◇本の紹介・感想文は全学年参加。 調べる学習コンクールは参加5%。	◇課題解決学習との関連を意識し、調べる学習コンクールの参加50%を目指す。	△

重点的な取組事項－２		豊かな心の育成及び体力の向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自主・連携 健康で自他を大切に行動できる児童の育成		学校評価アンケート「児童の様子」の肯定的評価80%以上	◇児童による肯定的評価 87% ◇保護者による肯定的評価 78%	◇安全対策を取りつつ実施でき、効果的だった。	◎
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
挨拶の励行・ 人権意識の向上	◇学校評価アンケート「挨拶」の肯定的評価90%以上 ◇校内人権研修、道徳授業公開講座の実施 ◇障がい者による授業	◇「挨拶の取組・プラス言葉の取組」を年間通して全学級で実施する。 ◇ユニバーサルデザインによる全教室の整備（掲示物等） ◇パラ選手による体験授業。	◇8割程度（高学年は9割以上）の児童が自主的に、挨拶ができる。 ◇10月道徳授業を開かれ協議会委員とPTA本部役員に公開。 ◇10月パラ陸上選手（花岡氏）による体験授業を4年生が実施。	◇低・中学年の挨拶励行とプラス言葉の実践を目指す。 ◇外部講師の出前授業は、安全対策を取りつつ計画的に増やしていく。	○
いじめの根絶・不登校の解消	◇ハイパーQUを活用した校内研修の実施と学級経営・教育相談の充実 ◇いじめアンケートや相談Boxの活用で未然防止と早期発見・解消	◇校内委員会を中心に全教職員で情報を共有し、SCや関連機関との連携による児童の良さや可能性を伸ばす指導。 ◇年間3回アンケートを実施。 ◇代表委員会による「いじめ根絶標語作り」（9月実施）	◇7月にハイパーQUの活用研修を実施。 ◇年間3回アンケートの実施と6月に代表委員会による3年生以上全学級の「いじめの根絶標語作り」に取組み、校内放送で発表し校内掲示をした。	◇QUの活用研修は学級経営の方策に効果的だった。	○
異学年活動の充実	◇授業の振り返り、クラブ・委員会活動の振り返りの肯定的自己評価で80%以上	◇異学年活動の充実（縦割り班、クラブ・委員会活動） ◇特別活動の充実（ユニセフ募金、エコキャップの回収、ゴミゼロ清掃活動等の活動を全校で実施）	◇感染症対策を取りつつ、各班年間4回（7、10、12、2月）の異年齢交流ができた。 ◇児童の「特別活動の振り返り」の肯定的自己評価 86.2%。	◇様々な交流を工夫し、今後も自他を大切に行動できる児童の育成を図っていく。 ◇ゴミゼロ清掃活動の全校実施も検討していきたい。	◎
健康・体力の向上	◇安全指導教室の実施（年間3回） ◇体力テスト（持久力の向上）、食育の講話（年間2回）実施	◇交通安全教室、セーフティ教室、薬物乱用防止教室実施 ◇運動習慣の形成（縄跳びカード、持久走カード）。各種給食ウィークの取組実施。	◇6月にSNS等のセーフティ教室10月交通安全教室、12月薬物乱用防止教室が計画通り実施できた ◇食育講話や給食ウィークの取組を予定通り実施できた。	◇感染症対策も兼ねて、健康・体力の向上は、今後も継続していく。	◎

重点的な取組事項－3		地域社会に開かれた教育～学校教育活動の「見える化」～			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自主・連携 学びを生活に活かす児童の育成		学校評価アンケート「連携について」 肯定的評価70%以上	◇肯定的評価は「児童の様子」8割を達成、「連携」6割、1割は「分からない」だった。	◇各種便りやHPで公開したが更に教育活動の「見える化」を進めていく。	○
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者・開かれた学校づくり協議会による年間2回以上の学校評価アンケート	◇2回の学校評価アンケートの平均回収率70%以上 ◇各項目肯定的評価70%以上	◇学校評価アンケートを実施（年2回、9月・1月予定） ◇学校公開期間中（6月、10月）に、授業診断を行い、結果を授業改善に生かす。	◇10月開かれ評議会委員、1月保護者へ学校評価アンケートを実施（9月は休校のため実施なし）。肯定的評価は「児童の様子」8割を達成、「連携」6割、1割は「分からない」だった。	◇行事公開（体育発表会、持久走大会、展覧会、席書会）はできたが、感染拡大のため授業公開1回のみだった。各種便りやHPでの公開を周知し「見える化」を進めていく。	○
幼保小中連携教育	◇小1プロブレム問題発生ゼロ ◇中1ギャップ問題発生ゼロ	◇あだち幼保小接続期カリキュラムについて実践・実施状況調査。 ◇幼稚園・保育園への学校紹介リーフレットの作成。教員の交流研修。 ◇中学校との教科研究、授業公開協議会・講演会の実施。 ◇小中連携校との学校便りの交換（毎月）	◇幼保小連携は、1月に年長児を招待し展覧会参観、2月の手紙交換を実施できた。 ◇小中連携は授業公開協議2回、交流研修会2回実施。感染拡大のため他3回は実施できなかった。 ◇小中連携校との学校便りの交換（毎月）経過通り実施できた。	◇次年度も幼保小中連携教育の計画を作成し、柔軟に実施していく。	◎
キャリアタイム 「将来の夢や希望を持たせることにより、自己肯定感や学習意欲の向上」	◇全学年対象。学習への内発的動機の喚起 ◇自己肯定感や学習意欲の向上	◇地域人材の活用、外部講師の活用により、全校朝会での講話。年10回以上（7月～） ◇実施後のレポート（毎回） ◇学力調査の意識調査。学習意欲や将来の希望について調査と学力状況との相関について調査・分析。	◇10回実施（うち8回動画）できた。新たに校医、税理士（保護者）、JICA 関連の方を講師に開拓することができた。 ◇意識調査との相関についても、90.4%（区平均86%）と効果が検証できた。	◇意識調査との相関についても、90.4%（区平均86%）と効果検証に基づき、本校の特色ある教育活動の一つとして、次年度も新たな講師の開拓をしつつ継続していく。 ◇レポートの形式は、発達段階を考慮していく。	◎

## 6 まとめ

### (1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

#### ◎学力向上アクションプランについて 挑戦し続ける 児童の育成

◇学習定着度調査（区学力調査）結果より、課題と対策

【国語】全体通過率は、令和元年度に比べ2.4ポイント上昇したが、「書くこと」「読むこと」、「話すこと・聞くこと」に課題がみられる。文を正確に読むことや「話すこと・聞くこと」に焦点を当てた授業改善が必要である。

【算数】全体通過率は、令和元年度に比べ5.4ポイント上昇したが、「数と計算」「図形」「データの活用」に課題がみられた。「どこで間違えたか」を各自が確認し習熟を図ったり、自分の考えを言葉で説明させたりする指導や、個々の課題を支援していく指導が不可欠と考える。

◇学力向上への取組

【朝のパワーアップタイム】国語と算数の基礎力向上を図る時間として、漢字小テストや百マス計算、読書を継続していく。解けなかった問題は宿題で反復させるなどの取り組みを更に徹底して習熟を図っていく。

【放課後ステップアップ教室】既習事項につまずきのある児童を対象に継続していく。対象とする学習内容を焦点化し、補充プリントやICTを活用して、つまずきの解消を目指し時間確保に努め、専科教員も指導に入り、全校体制での指導を充実していく。

【家庭学習の推進】「家庭学習の手引き」を配布し、自主学習の進め方を示し、「学年×10分」を目標に家庭学習を進めている。これからも家庭と連携を図っていく。

### (2) 保護者や地域へのメッセージ

#### ◎子供たちの 豊かな成長のために

◇1年延期となっていた創立50周年記念行事（記念式典、児童集会、10周年タイムカプセルの掘り出し）と記念の体育発表会、寺町マラソン、展覧会を周年実行委員会、PTAを始め学校関係者の皆様のご協力の下、無事行うことができました。コロナ禍の制限中ではありましたが、児童の一生懸命な姿を参観していただき教育活動の充実が図れたことに感謝しています。

これからも本校の特色のキャリア教育を推進し、「学びと社会とのつながり」を体験し、児童の興味関心・進路選択の力を育てていきます。

学校・家庭・地域の各々の大切な役割を確認・共有し、「子供たちの 豊かな成長のために」これからも、お力添えをよろしくお願ひします。

◇学校教育目標 「考えの深い（知） 心の豊かな（徳） 実行力（体）のある子」の育成を目指し、令和3年度 東伊興小学校は、

…児童像 ○自ら考え 行動し 自分をより良く 高めていける子（自主）

○相手を思いやり 互いに磨き合って 豊かに関わり合える子（連携）

教師像 ○凡事徹底 自ら学び続ける教師（自主）

○強みを活かし 協働できる教師（連携）

「自主・連携」をキーワードに、教育活動に取り組んでいきます。

### (3) その他（学校教育活動全般について）

令和3年度 児童が各方面で活躍し表彰されました。…はたらく消防写生会（優秀賞、入選）、メトロ絵画展（佳作）、選挙ポスターコンクール（銅賞）伊藤園新俳句（入賞8名）、一茶まつり俳句（足立区教育委員会賞、特選、入選）税の標語（西新井税務署長賞）凧まつり（区議会議長賞）

令和4年度 ○授業改善「思考・表現する力の育成」と開かれた教育の推進

○体育学習発表会（5月28日予定）音楽会（11月11・12日予定）寺町マラソン（12月3日予定）等の学校行事

○日光自然体験教室（9月20～22日予定）鋸南自然体験教室（12月12～14日予定）を計画しています。